

連携研究実施報告

2014年11月14日（金）、プロジェクトの塘研、難波研が連携研究「**桧原湖及び北部流入河川における底生動物群集、大腸菌群、水質の関係解明**」の第3回合同調査を実施しました。底生動物の定量採集を担当している塘研からは院生の大平君、4年生の難波君、武田君、3年生の林君、特任助教の内藤さん、そして塘が、また、水生生物調査を業務の一つにされている企業の方1名の計7名が参加しました。当日は難波君の調査（同位体比分析試料の採集と河川環境の測定）も同時に実施しました。

当日は11月中旬とは思えない雪の中、気温0-1℃の寒さと水温5℃前後の冷たさと戦いながらの調査となりました（桧原湖に舟を出しての調査を実施した難波研はもっと大変だったことでしょう）。幸い参加人数が多かったので、2班に分かれ、A班が会津川（2地点）、大川入川を、B班が長井川（2地点）、吾妻川、早稲沢、長瀬川を調査し、その後、合同で難波君の調査地である長井川と長瀬川での調査を実施しました。

これで予定の3回の調査（春期: 6/4, 夏期: 8/12, 秋期: 11/14・・・景色的には冬期）を終えました。水質、藻類、底生動物、大腸菌群の関係とともにそれらの関係の季節変化などを明らかにできれば、と考えています。（文責 塘）



会津川(上流)での底生動物の定量採集(回収作業)



大川入川での底生動物の採集(コドラート・サンプリング)



長井川(下流)での採水(難波研)と底生動物採集(塘研)



長井川(下流)で採集した底生動物の簡易同定と回収